

# 「Only One 今わたしたちにできること」 地球は危機的状況

日本と世界の給食を調べよう 操南祭2020 給食委員会

○人口爆発

1812	1億
1912	1.5億
2019	77億
2055	100億?



この100年で世界の人口、経済、食料生産量・消費量、エネルギー生産量・消費量などが急激に伸びています。しかし、地球は有限です。人間が生活に必要な水・土地・資源は無限ではありません。人間が排出する二酸化炭素や汚染物質を吸収する自然も限られています。

地球の扶養力(地球がどれだけの人口を養えるか)の限界を超えているという研究が多く発表されているそうです。

地球温暖化は異常気象を引き起こし、ハリケーンや集中豪雨・洪水が多発し、その一方で干ばつや砂漠化が進んでいます。各地の氷河が溶け、水不足に陥り、山火事も多発しています。新しい伝染病も蔓延しています。また、各地で起きている自然災害でダメージを受ければ、食料価格はさらに高騰します。人口が増えれば、それだけ農地が必要になり、農地を増やせば森林破壊がさらに進み、資源や食料が足りなくなるのは時間の問題とされています。

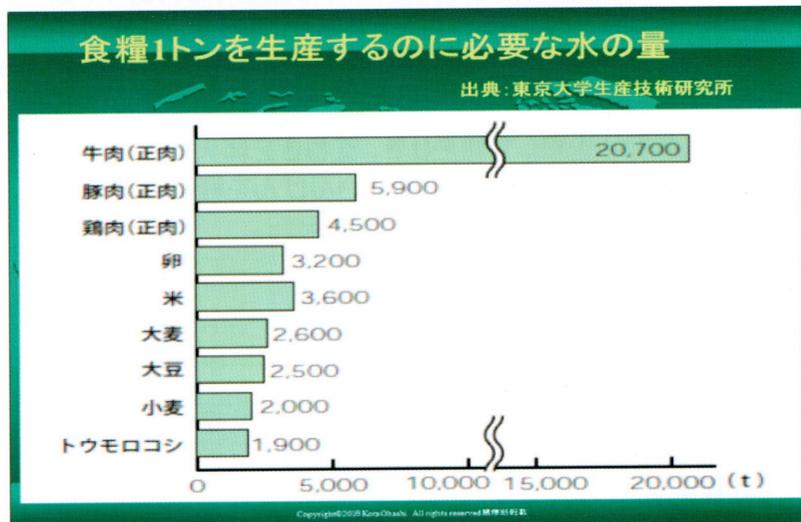
## 国連が警告:近代畜産が環境問題の最大の一因

肉食と車の運転・・・温室効果ガスを大量に排出しているのはどっち？

国連食料機関(FAO)は、家畜動物達が全世界の交通機関(全ての自動車・飛行機・船)から排出される温室効果ガスよりも40%も多くの温室効果ガスを産出しており(温室効果ガスの18%は畜産からの産出)、土壌や水質の劣化の主要な原因になっていると報告しています。

### ○水不足

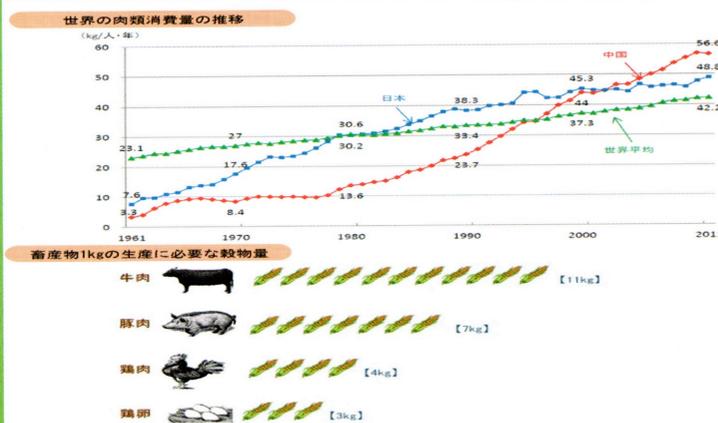
畜産は大量の水を必要とします



牛肉1kgを得るために必要な水は100tです。畜産は穀物生産より約20倍の大量の水を要求します。(牛丼一杯を作るために水は1890リットル必要)すでに黄河を始めとする大河が断流と呼ばれ海まで届かない現象が起きています。水は全ての生命にとって絶対に欠かせません。私たちは世界の水資源の50%を使っています。残りの50%を動植物が分け合っています。

### ○飢餓

肉食を減らし、家畜の食べていた穀物を人間にまわせれば、飢餓状態から脱することができます



現在世界では10億の人々が飢餓状態にあり、約20億人が栄養失調に苦しんでいます。食量不足に拍車をかけるのが、食肉消費の著しい増加です。肉などの畜産物を生産するためには、その何倍もの穀物が必要です。牛肉1kgを生産するのに11kg豚肉1kgでは7kg、鶏肉1kgでは4kg、鶏卵1kgには3kgの穀物が必要です。世界の穀物の40%は家畜のための飼料にされています。世界では、農地の40%が既に劣化しており、今後、穀物生産量の増加は難しいとされています。アメリカの家畜が消費する穀物と大豆で13億人が食糧を確保できるという報告があります。肉食は飢餓の原因の一つになります。

参考・・・ とよなか市民環境会議アジェンダ21

<https://www.youtube.com/watch?v=t0qEKZdlh48&list=PLD-Atc-ZeG1LqS0awHKBlq-fnXcNmJk-K&index=5&t=0s&app=desktop>